

保育北九州

平成28年4月1日

発行 (一社)北九州市保育所連盟
〒805-0019
北九州市八幡東区中央2丁目1-1
(レインボープラザ5F)
電話(093)661-2153番

発行人 酒井光義
編集人 日野真人

2016 **183**



〈提供 小倉北支部〉

**かたたたきをしてあげたら、ありがとう、
ありがとうってなんどもいってくれたよ！**

(通所施設シルバー交流会にて)

(5歳児の作品)

表紙	1
インタビュー	2～3
仲間たち	4～5
研修報告	6
支部近況	7
雑感・編集後記	8

一般社団法人 北九州市保育所連盟会長

酒井光義先生インタビュー

平成28年2月16日
於・神岳保育園会議室

平成27年5月から第6代の（一社）北九州市保育所連盟会長に就任された酒井光義先生に、新制度のことやこれからの市保育所連盟のあり方についてお聞きしました。

文中（酒井）…北九州市保育所連盟会長 酒井光義先生
文中（編集 A～G）…保育北九州編集部

（編集 A） 本日はお時間を頂きありがとうございます。

会長就任から二年近くが経過しましたが、新制度が施行されたことに伴う行事や会議もとても多いとお聞きしています。お忙しい毎日ではありませんか？

（酒井） 就任したばかりで、とにかく

自分にできることはやっていくと考えて無我夢中で過ごしてきました。今年に入ってからようやくペースがつかめてきたような気がします。

（編集 B） 北九州市保育所連盟の会長

ということで他団体の役員を充て職的に務めなければならぬとも聞いております。

（酒井） 北九州市の社会福祉協議会

関係の役に就かせていただいております。また福岡県保育協議会の協議員として参加させていただいております。

（編集 C） 各会議ではどのようなことが

問題になっているのでしょうか？

（酒井） 議論の方向性としては、所

属団体についてのテーマと新制度への対処が大きな流れになつていきます。

（編集 D） もうすぐ第3回九州保育三

団体研究大会も北九州を会場として開かれます。そのあたりのことも出ているのでしょうか？

（酒井） もちろんそのことについても

話しておりますが、やはり全保協（全国保育協議会）に関するものが議題の中心ですね。

（編集 E） 全保協について教えてください。

全保協は全保連（全国私立保育園連盟）とは違った団体ですよ。

（酒井） 全国保育協議会の特徴は、

その所属保育所（園）が、公立・民間問わないことに大きな特徴があるかと思

います。全国の認可保育所の約93%、約21000箇所の保育所（園）が加入している保育団体なのです。事務局は東京・霞ヶ関にあり、各都道府県・政令指定都市・市にも保育協議会が組織されています。

（編集 F） 具体的にはどのような活動

をされているのでしょうか？

（酒井） 主な活動としては、会報誌

である全保協ニュースやホームページ等による情報提供や研修会の企画・開催による保育関係者の研修活動、保育に関わる調査・研究事業を行っています。その他にも保育制度や施策について保育関係者の意見をまとめ、国（行政）等へ提言するなど活動を行っています。

（編集 D） 大きな団体ですよ。

公私を問わない団体ですからその規模は大きくなると

（編集 G） 全国保育士会とも密接な関

係を持つ団体ですよ。

（酒井） その通りです。全保協各組

織では保育士会各組織と手を携えて、子どもたちの成長を担う団体として活動を行っています。

（編集 A） 北九州市における私立保育

園連盟や保育士会との関係についても教えてください。

(酒井)

まず第二に、われわれは保育の仲間であるということですから。私保連は政府委員を務められた橋原淳信現会長が、保育界の先頭を切って新制度施行という荒波に立ち向かわれました。これはわれわれ北九州の保育者にとって誇りとなることでした。保育士会は、藤岡佐規子先生の時代から調査研究を通して確立してきた保育―北九州が全国に誇れる保育を北野久美現会長がしっかり受け継ぎ、今まさに新たな飛躍を遂げようとしていているように思います。それぞれの団体はただの業界団体ではありません。保育の専門職集団として互いに手を携えて力を合わせながら保育の道を進む団体です。

(編集B)

酒井会長が保育の道に進もうとされた原点を教えてください。

(酒井)

父から教えられた仏教保育が原点であろうかと思っています。仏様の慈しみを通して福祉としての保育を行う―わがことよりも、まず子ど

もたちのことを考える保育。

父からはそう教えられてきました。なかなかその言葉の意味するところに近づけず、あがく自分がいるような気がします。

(編集C)

いつもやさしい笑顔と言葉で接してくださる酒井会長の原点がわかったような気がします。

(編集D)

酒井会長、保連会長としての方向性を一言でお願いします。

(酒井)

「共有」ですかね。

(編集C)

その言葉の意味するところ、深く広いものがあるような気がします。

(酒井)

まず「全保協ニュース」をみなさんのお手もとにメール配信することを始めました。

(編集D)

中央のニュースがダイレクトに届くようになりました。

(酒井)

情報を共有することが議論を始める第一歩であると考えています。戦後からの各団体の流れは開拓者精神をもつてことにあたるといふことだったと思います。道なき道を歩む苦難の歴史です。



(酒井)

そうです。智恵を集めるた

(編集E)

意見の集約ではなく智恵の集約ということでしょうか。

われわれはそれを、西村法昭先生ら強烈なリーダーシップをもった先達に続いて歩んできました。しかし、これからは保育者二人一人が問題意識を持ち、たとえ微力であろうとも、互いに支え合い、励まし合いながら進んで行く必要があると考えました。わたし自身も、会員のみなさまの力をお借りしなければ進んで行くことは出来ません。そしてそれこそが高度に進んだ情報化社会―複雑化した諸制度の時代にあつて必要であると考えます。

(編集A)

めにはまず情報をすべて提供し、共有することが前提となります。その上で初めてよい智恵が生まれてくるのではないのでしょうか。

(酒井)

そうです。ですからまずしっかり手を繋いでやっていきましょう。

(編集同)

本日はありがとうございます。

以上文責…保育北九州編集長

日野真人

寄付

(一社) 北九州市保育所連盟

(公社) 北九州市私立保育園連盟

北九州市保育士会

へご寄付

竜光保育園 園長 深川教真様
よりご尊父様のご逝去に伴い、保育事業発展のため多額のご芳志を頂戴いたしましたので、ご報告申し上げます。



今回は子育てふれあい交流プラザの中にある「ほっと子育てふれあいセンター」を訪ね、アドバイザーの黒岩和子さんにお話を伺いました。

Q. ほっと子育てふれあいセンター(以下センター)の目的は何でしょうか?

A. 平成6年、国の事業としてファミリーサポート・センターが設置され、「子育ての手助けをしてほしい人」(依頼会員)と「子育てのお手伝いをしたい人」(提供会員)通称「ほっとさん」が会員となり、地域の中で子育てする相互援助活動が始まりました。

北九州市には、他の県にはない2つの特徴があります。一つ目はセ

ンターの名称を「ほっと子育てふれあいセンター」としたこと。これには、この事業を最初に受託され、ご自分の園でスタートされた藤岡佐規子先生の「支援を受ける親と子はもとより、関わるすべての人が、心からほっとする事業でありたい」という願いがこめられています。また、「ほっとする街北九州」のスローガンに合わせたものです。二つ目は市の育児相談センターと両輪です。育児相談センターと両輪です。二つ目は市の育児相談センターと両輪です。二つ目は市の育児相談センターと両輪です。

Q. センターの仕事を教えて下さい。

A. センターにはアドバイザーが常駐しており、①会員の募集、登録その他の会員組織業務 ②会員同士の相互援助活動の調整 ③会員に対して活動に必要な知識を提供する研修会の開催 ④会員同士の交流と情報交換のための交流会の開催 ⑤保育所や相談機関など子育て支援関連施設、機関との連絡調整などの業務を行っています。

Q. 「ほっとさん」の活動内容や実績

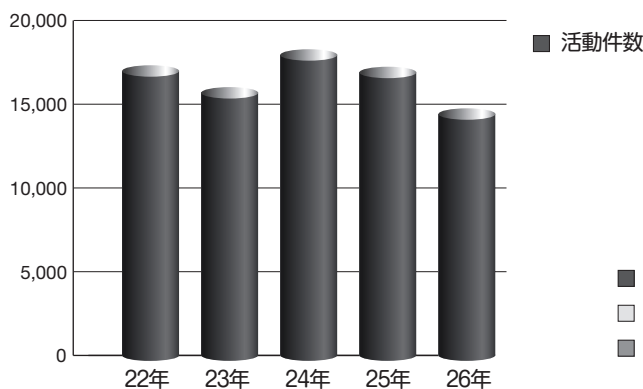
を教えてください。

A. 子どもの預かりは、原則として提供会員の自宅で行います。支援活動は早朝、夜間にわたることもあります。子どもは宿泊はおりません。また、依頼会員宅での家事支援も行いません。支援活動は、原則として一人の依頼会員に対して一人の提供会員で対応します。年間13000件以上の活動件数がありますが、設立以来この15年間で保険を使うような重大な怪我や事故は起こっていません。研修体制が整っていることでもあります。ひとえに提供会員の努力だと言えます。

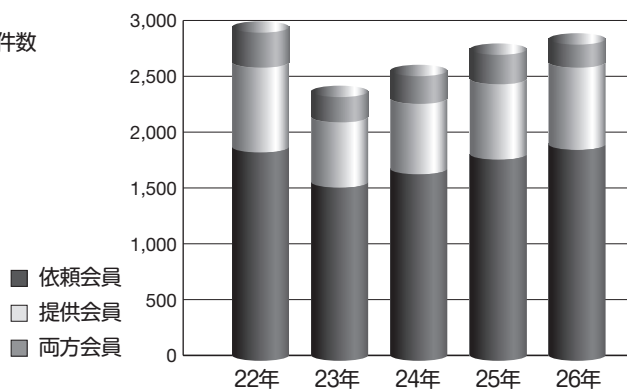
Q. アドバイザーとして心がけていること等がありましたら教えてください。

A. この事業は、光沢寺保育園の藤岡佐規子先生の園でスタートしました。私が引き継ぐ際に「真の目的は親子の自立を支える事業であり、親の子育て放棄につながることを防ぐこと。また、子どもの最善の利益を優先すること。親の悩みを受け止めるためにも育児相談センターと両輪で運営すること」とご指導を受けました。アドバイザー

〈活動件数〉



〈会員数〉



支援活動例



保育園や学童保育、
習い事などの送り
迎え



保育施設の時間外
や、学校の放課後な
どの子の預かり



買物など保護者の
外出時の子の預か
り



保護者の病気や冠
婚葬祭などの急用
時の子の預かり



軽い病気で病児保
育室などが利用で
きない場合の子の
預かり

として18年目になりますが、当初、専業主婦の70%の母親が子育てについて悩んでいることを知り驚きました。その時に決心したことは、「自分の価値観を白紙に戻そう、思い込みを失くそう、お母さん方の気持ちをしっかり受け止めよう、親子の自立を支えるため親の役割までとらないことを会員に伝えていこう」ということでした。問われるのは自分の人間性です。私たちが必要とされている支援に誠意を持って実践しようと心に誓ったことが今の私を支えています。いかに乳幼児期の子育てが大切な伝え、親と共に育つことが私たちの課題だと思います。



Q. それでは最後にこの事業のPRをどうぞ。

A. お子様を預かって欲しい方は増える一方、預かってくださる方は年々減っています。理由はいろいろですが、不安や心配事も多いようです。しかし、実際に体験した殆どの方々は、互いに感謝されます。提供会員からは、「久しぶりに赤ちゃんを抱き、エネルギーをいただいた」「子どもと接しわくわくした」や、依頼会員からは「良い方に出会い、我が子が次の再会を楽しみにしている」との声を聞くことができました。人は誰かの役に立つことで成長し豊かになります。わずかな時間でもいいのです。多くの方々に会員になっていただき、お力をお借りしたいと思います。特に提供会員を募集しています。よろしく願いたします。

*インタビューを終えて

インタビューの僅かな時間にも、サブアドバイザーの河中寛子さんが次々に

子育て支援6箇条

1. 子どもの安全が最優先
2. 会員の責任で行う活動で強制されるものではない。
3. ルールは初めに決め、決められたことは守る。
4. 立ち入りすぎず、要らないお節介はしない。
5. 対応はしなやかに、けじめはきちんと。
6. 家庭や親の役割までとらない。



かかる電話や面接に丁寧に対応されていました。ほっと子育てふれあい事業は育児サービスの一つと思われがちですが、設立当初からの歴史や思いをお聞きし、あらためて育児支援として、親子の自立を支えるものであることを感じました。黒岩さんの穏やかな笑顔の中にあるあつい思いに触れ、逆に元気と育児支援とは何かを考えるきっかけをもらいインタビューを終えました。

研修報告

第24回北九州市 小児口腔保健学会総会



平成28年2月14日、第24回北九州市小児口腔保健学会総会が開催されました。開会式では市保育所連盟を代表して酒井光義会長が挨拶されました。

その後、基調講演・教育講演・特別講演・シンポジウム等、子ども達の健康・保健について講師の先生方から多岐にわたる講演をいただきました。特に特別講演Ⅳでは北九州市保育士会会長・あけぼの愛育保育園園長の北野久美先生が「保育園における『子どもの保健』」と題して保育所を取り巻く環境を、養護の視点から読み取り、園においていかに実践してきたかを、保育帳票を中心に述べられました。午後からのシンポジウムにおいて「咀嚼力を高めるための取り組み

み」を北九州市保育士会参与・花かご保育園園長の中村尋子先生が講演されました。咀嚼力の低下の現状、原因、育ちへの影響をわかりやすく、具体的に興味深くお話しされました。先生方の様々な取り組みについて聞く機会を頂き、貴重な1日となりました。ありがとうございました。

曾根保育園

町田義典

平成27年度保育所（園） 職員総合研修大会

1月27日、福岡市ソラリア西鉄ホテルに於いて「すべての人が子どもと子育てに関わりを持つ社会の実現」をめざしてという主題で研修大会が開催されました。



午前中は、「咀嚼力を高めるための取り組み」、「遊びの職人になるために」、「ある零細社会福祉法人の今後を考える」というテーマで北九

州市、福岡市、福岡県より3名の先生方による実践発表があり、各園の熱心な取り組みを聞かせていただきました。午後からの記念講演では、福岡大学の宮勇雄先生による人間尊重の「接続」論を考える「子ども子育て支援新制度の「教育」「保育」観を問う」というテーマでお話しがありました。子ども子育て支援新制度における教育と保育の定義とその理由について説明して下さった後に、大宮先生が「私たちが保育を創る」と力強く語られた言葉が印象深く心に残りました。

又、幼児期の終わりまでに育ってほしい姿をどう捉えるか、設定された目標に向かわせるのではなく、自分で目標を立て、やりたい事に向かって頑張ることが大切であり、子どものその様な姿を見つめる事が保育士に求められている。あくまでも子どもが主人公であるというお話しがありました。今日のお話しをしっかりと心に留め、今後の保育に生かしていきたい様に日々努力を重ねていきたいと思いました。

小百合保育園

岡部 晶子

第33回北九州市保育士 研究研修会に参加して

2月17日に北九州八幡ロイヤルホテル

第33回北九州市保育士研究研修会 北九州市保育士会



で開催された研修会では「子ども・子育て支援新制度」が施行されて1年目といった点をふまえ、子どもに視点を当てた保育であるためには「いま私たちに求められている保育の専門性」とのテーマで行われました。午前中は、主催者・来賓者からの保育の現状と、保育士会活動の報告がありました。基調報告では、北野久美会長より保育所保育指針改定に向けての国の取り組みや待機児童解消への加速化プランの話等がありました。午後からは、エピソード記述について2園の報告と、中京大学客員教授、鯨岡峻氏の子どもの心を育てる保育のために「接面からの「養護の働き」を考える」というテーマで講演がありました。この研修に参加した経験を生かし、自分の保育を振り返りたいと思います。有意義な研修に参加できた事を感謝いたします。

さんろくこどもえん

木下 聡子

支部近況

第9回

門司区篇

門司支部名物第2弾！
今回は、H27年度に園舎を新しく建て替えられた
2つの保育園をご紹介します。

古城保育園園長

林田裕子先生

山の緑、海の潮風が身近な場所、ベージュ色に赤い園章「太陽のこども」のシンボルマークが目飛び込んでくる園舎に建て替わっていました。平成27年3月2日に新園舎での生活は始まり、高い天井の明るくゆったりとした空間の中で心地よく過ごしていました。



園内のステキポイントとしては「DEN（隠れ家）」という空間です。それはデスクスペースとなる場所を活かし、子ども達のほっとする図書コーナーやお迎えの時に親子でちょっとした一時が過ごせるように工夫が施された場所でした。設計には職員と相談しながら希望を伝え、完成することを楽しみに待ったそうです。園舎を広くした分園庭は狭くなったけれど、近くの公園や公共施設を活用していますとのことでした。



花かご保育園園長

中村尋子先生

静かな住宅街に、アイボリー系で落ち着いた色調の外壁に園章である「花かご」のモチーフが可愛らしい3階建ての園舎です。職員の長年の夢がかなってホールもでき、平成27年3月13日から新園舎での生活が始まりました。

園内のステキポイントとしては非ご紹介したいのが「シーグラスアート」で作られたクラス名札です。園長先生のご希望で、さくら組には桜員を入れて欲しいなど色や形を製作者にお願したとのこと。そのままでとても綺麗ですが、電気をつけると、彩られた柔らかな光が回りに放たれていっ



そう美しいものでした。他にも給食室は保健所の意見を取り入れ出入口を一つにした。トイレは保温便座で快適に使えるようにしたり、モンテッソーリ教具や個人の持ち物などは出し入れしやすい棚の作りを工夫されたりと細やかな気配りを感じました。



両園ともに今ある立地条件を最大限に有効活用された園舎には子ども達が安心安全そして生き生きと生活しあそび込める保育環境がありました。又、保育士目線で考えられた使い勝手のよい収納方法や効率の良い動線など随所に工夫と配慮がありました。お忙しい中、話しをして頂いたお二人の園長先生は「いつでも見学にいらしてください」とのことです。風光明媚な門司へ是非いらして下さい。



ぼくのけたボールが
ゴールに入ったよ！

やったー

(5歳児の作品)

雑感 実習生

去年の夏、

「〇〇短期大学のTと言います。実習をさせて頂きたいのです」

と、一本の電話。私はこの名前で、今でも気になっている卒園児のことを思い出しました。年齢も電話口の学生と同じ歳。「もしかして、T・Aちゃんですか」「はい、そうです。実習のお願いです」最後まで聞き終わらないうちに、あの出来事が走馬灯のように甦ってきました。あれは私の受け持ちが年長組で彼女の担任だった十二月のことでした。園庭の低い鉄棒の上に寒そうに座っているのを、他の保育士が気づき、「危ないよ」と注意しました。注意を受けただけで、彼女が降りたことを一旦は確認しましたが、いつの間にかまた棒の上に戻っていたようです。しかし私は、彼女に気づかず子どもたちとの鬼ごっこに夢中でした。その時、彼女は鉄棒の上から落ちて、右肘骨折という大怪我を負ってしまいました。数日後、彼女は分厚いギプスで右肘を固定して登所してきました。彼女は私を見るなり「せんせい、キーボードでさん。でもこっちの手なら鈴がもてるよ」と左手を差し出しました。実は、怪我をする数日前に、クリスマス会で簡単な合奏をすることになっていたのです。「キーボード

がしたい」普段は引込み思案の彼女が、真っ先に皆の前で自分の気持ちを伝えて演奏することが決まったのです。その時は彼女の心の成長を感じた瞬間で、とても嬉しく思いました。しかし、右肘骨折という辛い現実には言葉は失い、彼女を抱きしめることしかできませんでした。代々の所長から、いくら素晴らしい保育をしても、怪我をさせたらおしまいと常に言われてきました。心の底から子どもが愛しく、保育士という仕事を天職として真面目に頑張ってきましたが、一瞬のうちに崩れてしまいました。幸いにも、順調に回復して卒園し、入学や卒業などの節目には保育所に来てくれて成長した姿を見せてくれました。「私、保育士を目指しています」若々しい元気な声に我に返りました。電話の向こうは、もう甘えん坊の幼い彼女ではありませんでした。どんな思いで保育所の門をくぐってくるのでしょうか。私にできることは、保育士の仕事は、厳しいけれど子どものかわいい姿や言葉に成長を感じ、幸せや感動をもらう素晴らしい職業であることを経験して欲しいと願い、そして伝えていく事だと思いました。

石峰保育所 工藤 満里子

編集後記 — 逆さにしても —

「幸せっていう字、逆から読んでも幸せなんだね」手帳大賞

これは手帳メーカーとして知られる高橋書店が毎年発行する「名言・格言日めくりカレンダー」に、同社が公募した「思わず手帳にメモしたくなった名言・格言」の大賞に選ばれた作品です。お母さんが食卓でハガキを書いていたら、反対側からそれを見ていた息子さんが言ったことだそうです。「幸せ」の逆は「不幸せ」だとばかり思っていたら、実は同じだったとは。新制度が始まって一年、大変なことばかりが目につき、なれない事務仕事にため息ばかり。前の制度の方が良かった……。こんな愚痴がつい零れてしまうことがありました。でも上記の言葉を見て、「本当にそうなのか？」とあらためて振り返ることが出来たように思います。変化に戸惑いへこたれるだけでなく、実は、これは好機なのでは、と気づくことも必要かと思ったのです。逆もまた「幸せ」。気がつけますように。

「保育北九州」編集長 日 野 真 人